

「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来 2018」開催報告



1 概要

内閣府・文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）は、「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来 2018」を開催し、女子中高生をはじめ、保護者や学校の教員の皆様を含め、約 260 名が参加しました。本シンポジウムでは、ピアニスト、学生、起業家等、様々な分野で活躍している理工系出身の先輩をお招きした他、理工チャレンジの趣旨に賛同する企業・大学等によるブースも展開し、多様で豊かな理工系の未来をご紹介しました。

（開催日：平成 30 年 6 月 24 日(日)）

2 講演内容

まず、「基調講演」では、中島さち子氏（ジャズピアニスト、東京大学大学院数理科学研究科特任研究員、(株)steAm 代表、内閣府「STEM Girls Ambassador」）から、「21 世紀に必要な創造力とは？～数学と音楽の視点から～」と題して、数学の面白さとともに、異分野との融合や自分自身の人生を創造していくことの楽しさについて、ミニコンサートやマジックを交えて、お話いただきました。

続いて、「リケジョ経験談」「ホンネ座談会」では、様々な分野で活躍する理工系出身の先輩たちから、理系進学を目指したきっかけや、学校生活、様々な職業とそのやりがい等についてご紹介いただきました。

また、会場からは、進路選択に迷っている生徒や保護者の皆様から、勉強方法や悩みなどの質問があり、先輩たちから、熱いエールが送られました。



3 ブース展示

本シンポジウムでは、内閣府男女共同参画局が中心となって取り組んでいる「理工チャレンジ（リコチャレ）」の趣旨に賛同する団体によるブース展示を行いました。22 団体が出展し、各団体における仕事内容や取組、学校生活等の紹介を行った他、各団体の先輩との交流や、ロボットやコンピュータによるデモンストレーション等もあり、科学技術や理工系の職業に触れる機会も設けました。ブースを回って情報収集したり、真剣に経験談を聞いたり、熱心な姿が多く見られました。

参加者のみならず、名刺交換等により各企業等の担当者同士がネットワークを形成できる機会ともなり、今後の取組拡大につながる有意義な時間となりました。

